

アドレーヌ

2009年4月3日 設定を少し改変



設定

数年前にポップスターへとやって来た絵描きの少女で、16歳。
外見は地球人によく似ているが地球人ではないらしく、本人曰く「地球とよく似た星からやって来た」とのこと。

初めてポップスターにやって来てからしばらくは「アド」と名乗っていたが、2年ぐらい経ってからは「アドレーヌ」と名前を変えた。
それでも**カービィ**などからは愛称で「アド」と呼ばれることも多い（カービィは彼女を何時も「アドちゃん」と呼ぶ）。

彼女がまだ「アド」と名乗っていた頃、ダークマター族の首領であるゼロに洗脳されて悪い心を持ってしまい、
「クラウドパーク」のボスとしてカービィと対立することになるが、激闘の末に彼女はカービィに敗れ、正気に戻る。
この事がきっかけとなってカービィと仲良くなった。

彼女の最大の特徴は、ペイントローラーやドロシアのように描いた絵を実体化させることができる能力である。
基本的にキャンバスに絵を描いて実体化させるが、キャンバス以外のものに描いて実体化させることができる。
しかし実体化させることができるのは、絵筆で描いた絵に限定される。

絵を実体化させるには、絵を描いてから30分以内にアドレーヌが指をパチンと鳴らす必要がある。

30分以上経過してしまうと、描いた絵は実体化させることができなくなる。

実体化させた絵をキャンバスに戻す事も可能で、その場合は実体化した絵にキャンバスを近づけることで戻す事ができる。

この絵画実体化能力についてだが、彼女はこの能力を生まれたときから持っていた訳ではなく、8歳の頃に絵を描いていたら、描いた絵が何時の間にかキャンバスを飛び出して実体化するようになり、

それから何度か絵を描いていく内に、描いた絵を任意で実体化させることができるようになったと彼女は語っている。

何故そのような能力が手に入ったのかは、今のところ全く明らかになっていない。

彼女はよく赤いベレー帽、緑のスモック、紺色のスカート、黒い靴下、茶色い靴という服装でいることが多いが、

それは単に彼女がその服装が気に入っているからであり、決して他に服が無いからという訳ではない。

だが、女の子である割にはお洒落にあまり関心が無いらしく、服装はやや地味なものを好む。

しかし服装は変えても赤いベレー帽だけは絶対に変えようとせず、毎日必ず被っている。

どうやらこのベレー帽は彼女が12歳の誕生日の時に両親がプレゼントしてくれた物だという。

その為か彼女はこのベレー帽をとっても大切にしており、ベレー帽を貶されたり傷付けられたりすると怒る。

親しい相手は愛称で呼ぶ傾向にあり、カービィなら「カーくん」、デデ大王なら「デデの旦那」と呼んでいる。

しかし恋愛感情に関しては非常に疎い部分があり、今のところ彼女が想いを寄せている男性はいない。

一人称は「あたし」。